

行政評価シート【重点戦略】

重点戦略２－（２）

担い手の育成・確保を支援する

基本的な方向性

- 人材育成・確保に向けた取組を進めるとともに、それぞれのライフスタイルに合った働き方を促進します。

KPI（重要業績評価指標）の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画 策定時	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2027 年度
ワンストップ窓口の就農相談件数【累計】	28 件	95 件	113 件			168 件
労働環境整備のための専門家派遣件数【累計】	－	30 件	47 件			40 件
合同就職面接会に参加した市内企業数【累計】	98 社	141 社	174 社			223 社
合同就職面接会等参加者数【累計】	396 人	676 人	802 人			821 人

戦略推進のための主な取組の「成果」

- ・個別就労相談、企業合同就職面接会を開催するほか、企業向けの採用力強化セミナーや合同会社説明会を実施するなど、企業と求職者を結ぶ支援をしました。また、ワークステーションひらつか「夢のタネ」の活動のPRやスタッフ個々の能力向上を図るとともに、障がい者に対し就労支援サービスに関する訓練給付費を支給することで、障がい者の就労支援を行いました。
- ・農作業受託組織に対して、資機材導入や運営に係る支援を行いました。また、「農業支援ワンストップ相談窓口」で関係機関と連携し総合的に相談対応するなど、経営安定や拡大を図る意欲ある認定農業者を支援するとともに、認定新規就農者に対して、家賃支援や資機材導入支援、国の交付金を活用した就農当初の資金支援を行いました。
- ・関係機関と連携したセミナーの開催や事業者への専門家派遣を実施し、事業者の経営力強化に取り組みました。また、各種補助制度や奨励金により、雇用及び労働環境の改善、脱炭素化の取組に対する支援を行いました。

戦略を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・ 少子化や社会構造の変化による、企業の人手不足の解消が必要です。
- ⇒雇用状況を注視・分析し、企業と求職者のマッチング機会を創出します。また、ワークステーションひらつか「夢のタネ」の活用や障がい者のニーズと特性に応じた支援を行うことで、障がい者の就労や働く場の提供・定着を促進します。
- ・ 農業者の高齢化が進むなかで、担い手の確保・育成が必要です。
- ⇒認定新規就農者や規模拡大を図る認定農業者に対する支援を拡充するとともに、「農業支援ワンストップ相談窓口」を活用することで、地域への定着を図ります。
- ・ 場所や時間、性別などにとらわれない働きやすい環境が必要です。また、技術革新やビジネスモデルの変化に対応・適応するためのスキルの習得が必要です。
- ⇒企業の事業主・勤労者の労働問題、労働環境などに対する知識・理解を深めるとともに、仕事と家庭を両立しやすい労働環境や人材育成体制の整備を促進します。

戦略推進のための「【取組】（事業）」

- 【様々な就労機会の創出支援】（就労支援事業、中小企業経営支援事業、障がい者ワークステーション事業、障がい者就労促進事業）
- 【新たな担い手の確保への支援】（担い手総合対策事業、新規就農者育成事業、駅周辺地区活性化推進事業）
- 【働き方改革に取り組む企業への支援】（中小企業経営支援事業）
- 【リスキングの促進】（中小企業経営支援事業）